

2020年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

日 本 史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから10ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の文及び資料について、後の(1)～(8)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

(a)弥生時代の後期には、すでに大きな墳丘をもつ墓が各地で作られていたが、3世紀中頃から後半になると、より大規模な前方後円墳をはじめとする古墳が西日本を中心に出現した。これら出現期の古墳は、多くは前方後円墳もしくは前方後方墳で、(b)内部の構造や副葬品について、画一的な特徴をもっていた。

(c)古墳時代は支配者である豪族と被支配者である民衆の生活がはっきり分離していた。

7世紀前半に、蘇我氏や王族により広められた(d)仏教中心の飛鳥文化のなかで、蘇我馬子は、はじめて塔・金堂などの本格的(e)伽藍をもつ飛鳥寺を596年に完成させた。従来の掘立柱とは違い、資料Aのように(1)の上に柱を立てて屋根に瓦を葺く建築技法が用いられた。他にも厩戸王(聖徳太子)創建といわれる四天王寺、法隆寺などが建立され、寺院は古墳にかわって[]となった。

710(和銅3)年、元明天皇は藤原京から平城京へと遷都した。平城京は唐の(2)にならひ碁盤の目状に東西・南北に走る道路で区画される(3)をもつ都市であった。

(f)都は南端の羅城門から中央を南北に走る朱雀大路で左京と右京に分けられ、北部中央には平城宮が位置した。のちに、左京を東へ伸ばし外京が設けられた。

資料A

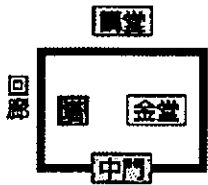
資料B

資料C

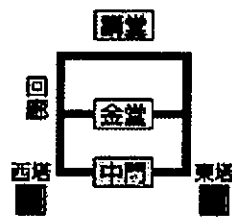
資料D

資料E

ア



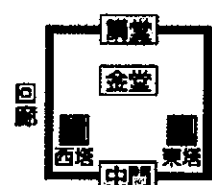
イ



ウ



エ



- (1) 空欄(1) ~ (3) に当てはまる語を答えよ。
- (2) 下線部(a)について、資料Bは、当時の時代を示した中国の歴史書である。(ア) に当てはまる語を答えよ。
- (3) 下線部(b)の画一的な特徴について、理解させたい。あなたはどのように説明するか、簡潔に答えよ。
- (4) 下線部(c)について、資料Cは群馬県高崎市の三ツ寺I遺跡の推定復元模型である。この資料を授業で提示した場合、豪族の居館について、どのような特徴を読み取らせることができるか。あなたが着目させたい点を明確にして説明せよ。
- (5) 下線部(d)に関して、仏教公伝の年代について2説を紹介して生徒の理解を深めたい。資料D以外に、提示すべき資料の名称を一つあげよ。
- (6) 下線部(e)について、資料Eは伽藍配置である。ア～エを古いものから順に並べかえよ。また、そのように判断した理由について、簡潔に説明せよ。
- (7) 文中の に適する文を答えよ。
- (8) 下線部(f)について、下線部に記載されている羅城門、朱雀大路、左京、右京、平城宮、外京の位置関係がわかるように図示せよ。

2 次のA～Eの文は、古代及び中世の機関及び役職について説明したものである。A～Eの文について、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。

- A (a)太政官のもとで政務を分担した八省の一つ。戸籍・租調庸・田畑をつかさどり、国家財政をになう。
- B 桓武天皇が797年に設置した(b)令外官。(1) が交替する際、後任者は事務引継ぎを完了した旨の文書である解由状を前任者に与えたが、これを検査して交替の際の不正を防ぐのが職務である。
- C 白河上皇の時、院御所に置いた院護衛の武士。(c)武士の中央政界進出の足場となる。
- D 幕府が蒙古襲来に備え、九州北部を防備するため編成した番役。1271年、(d)九州に所領のある御家人を下向させ、警備を命じた。御家人だけでなく、非御家人も動員された。
- E 室町幕府で将軍を補佐し、政務を統括する職。細川、斯波、(2) の3家から就任した。

資料

- (1) A～Eの機関及び役職の名称を答えよ。
- (2) 空欄(1)、(2)に当てはまる語を答えよ。
- (3) 下線部(a)について、「太政官」の読み方について指導する際、どのようなことに留意して指導を行うか、簡潔に答えよ。
- (4) 下線部(b)について、「令外官」はどのようなものか、簡潔に説明せよ。
- (5) 下線部(c)に関して、平治の乱後、平清盛は後白河上皇を武力で支えて昇進を遂げ、清盛は外戚として権威をふるった。このことについて、平清盛、安徳天皇、高倉天皇、徳子の関係を図示せよ。なお、婚姻関係は＝、子は――で示せ。
- (6) 下線部(d)について、資料は蒙古襲来絵巻の一部であるが、この絵を描かせた人物を答えよ。また、この資料は2度の蒙古襲来のうちどちらを描いたものか、判断の理由を明示して答えよ。

3 次の資料A～Eについて、後の(1)～(8)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

「令義解」

資料B

「類聚三代格」

資料C

「吾妻鏡」

資料D

「(f)樵談治要」

資料E

- (1) 空欄 (1) ~ (4) に当てはまる語を、下のア〜クから選んで記号で答えよ。
 ア 蔵人 イ 隼人 ウ 健児 エ 軍団
 オ 足輕 カ 防人 キ 国人 ク 郡司
- (2) 下線部(a)について、解答欄の例にならい、大和国の位置を解答用紙に示せ。
- (3) 空欄 には鎌倉時代の元号が入る。資料Cを参考にして、あてはまる元号を答えよ。
- (4) 下線部(c)について、具体的には誰のことか、人物名を答えよ。
- (5) 下線部(d)について、この論旨で追討の対象となった人物名を答えよ。
- (6) 下線部(e)について、1386年、五山の別格上位となった寺院を答えよ。
- (7) 下線部(f)について、「樵談治要」は9代将軍足利義尚への意見書であるが、誰が書いたものか答えよ。
- (8) 資料Eに描かれた破壊や掠奪をしている人物たちは、資料Dの文章ではどのように表現されているか、7字以内で抜き出して答えよ。

4 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成30年告示)の歴史総合の一部である。後の(1)の問いに答えなさい。

1 目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に (1) に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して (2) ・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて (3) したりする力や、考察、(3) したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を (1) に追究、解決しようとする態度を養うとともに、(2) ・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

- (1) 空欄 (1) ~ (3) に当てはまる語を答えよ。

5 江戸幕府の将軍について書かれた、次のA～Eの文について、後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

- A この将軍は、武家諸法度を改定して、参勤交代を制度化した。またキリシタンを禁圧して、(a)鎖国を断行した。
- B この将軍は、(1) 国館林藩主から将軍職に就任した。財政難を解決するために、(2) を勘定吟味役に登用した。また、生類憐みの令を出したり、学問を好み(b)儒学の振興をはかった。
- C この将軍は、紀伊藩主であった。将軍となって(c)享保の改革と呼ばれる諸政策を実施して、幕政の改革に取り組んだ。
- D この将軍は、三卿の一橋家から将軍となった。(d)松平定信を登用して幕政改革にあたらせたが、改革後も政治の実権を握り、大御所時代を現出した。
- E この将軍は、(3) を登用し、(e)天保の改革を実施させた。(3) 失脚後は阿部正弘を老中に任用して時局に対処した。

資料1

資料2

「癸卯日簿」

- (1) A～Eで説明されている将軍の名前を答えよ。
- (2) 空欄(1)～(3)に当てはまる語を答えよ。なお、(1)については、旧国名を答えること。
- (3) 下線部(a)について、鎖国体制下の対外関係を生徒に図を示して理解させたい。解答用紙のAとBに藩名、CとDに国名を加筆して、生徒に示す図を完成させよ。
- (4) 下線部(b)について、どのような政策を実施したか、「林家」「湯島」の語を用いて簡潔に説明せよ。
- (5) 下線部(c)について、目安箱の投書によってつくられた医療施設を答えよ。
- (6) 下線部(d)について、資料1を使用して、松平定信が実施した治安対策について理解させたい。資料1の施設を設置したねらいについて、簡潔に説明せよ。
- (7) 下線部(e)について、この改革で出された資料2について、簡潔に説明せよ。

6 次の資料A～Eについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A	
	「近江八幡市役所所蔵文書」
資料B	
	「経世秘策」
資料C	
	「法令全書」
資料D	
	「日本之下層社会」
資料E	
	「(3) 倍增計画」

- (1) 資料Aについて、次の①、②の問いに答えよ。
 - ① この法令を出した人物は誰か、人物名を答えよ。
 - ② この法令の内容、目的について、簡潔に説明せよ。
- (2) 資料Bの内容を、生徒に読み取らせたい。資料Bを参考にして、国力を充実させるために何が必要か説明せよ。
- (3) 資料Cについて、次の①、②の問いに答えよ。
 - ① 空欄(1)に当てはまる語句を答えよ。
 - ② 下線部は、国家財政の立場からどのような方針で定められたか、簡潔に説明せよ。
- (4) 資料Dについて、次の①、②の問いに答えよ。
 - ① この資料を書いた人物は誰か、人物名を答えよ。
 - ② 空欄(2)には群馬県の地名が入る。地名を答えよ。
- (5) 資料Eについて、次の①、②の問いに答えよ。
 - ① 空欄(3)に当てはまる語句を答えよ。
 - ② この資料は昭和35年に閣議決定されたものである。当時の首相名を答えよ。

7 次の文及び資料について、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

中島知久平は明治十七年、群馬県新田郡尾島村に生まれ、明治四十年に海軍機関学校を卒業した。早くから飛行機の重要性に着目しており、フランス航空界も視察している。

(a)明治四十四年に海軍大学校選科に入学し、飛行機と飛行船の研究に従事した。翌年には渡米し、アメリカ飛行倶楽部の飛行士免状を得て帰国した。大正六年に、のちの中島飛行機製作所を設立して所長となり、民間初の本格的な飛行機生産にのりだして、大正十一年には中島商事を新設した。

(b)昭和五年、群馬県一区から無所属で衆議院議員に初当選して、(1)に入党し、以後五回連続当選した。昭和六年には、(c)犬養毅内閣の商工政務次官に抜擢された。政治活動に専念するため、中島飛行機製作所を中島飛行機株式会社と改称するとともに、弟に役員を譲ったが、その後も飛行機工業の発展に尽力し、満州事変以後、中島飛行機を日本有数の軍需会社に発展させた。

昭和十二年、第一次(2)内閣に鉄道相として初入閣し、戦後は東久邇宮内閣の軍需相(軍需省廃止後は商工相)として敗戦後の処理にあたった。

資料A

(外交余録)

資料B

- (1) 下線部(a)について、この年に条約改正が完成した。その内容について、外務大臣の名前も入れて簡潔に説明せよ。
- (2) 下線部(b)について、この年にある内閣が資料Aの条約に調印したが、批判がわき起こった。その理由について、資料Aの条約名、内閣名も明らかにして、簡潔に説明せよ。
- (3) 空欄(1)に当てはまる政党名を資料Bを参考にして、答えよ。なお資料Bは空欄(1)に当てはまる政党が明治33年に設立した時に出した宣言である。
- (4) 下線部(c)の犬養毅首相が五・一五事件で倒されるまでの8年間の政治体制を、次のように生徒にまとめさせた。空欄に当てはまる言葉を補い文を完成させよ。

「第一次加藤高明内閣から犬養毅内閣が崩壊するまでの8年間は、

- (5) 空欄(2)に当てはまる人物名を答えよ。

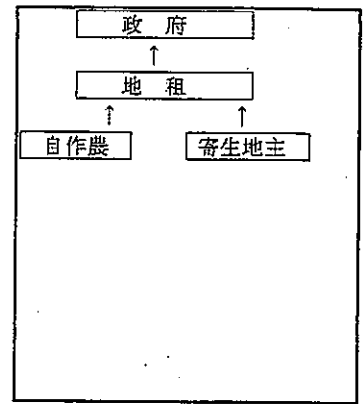
8 次の資料A～Fについて、後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

資料A

資料B

資料C

資料D



南鐮二朱銀 小判1両
(資料B・Cの縮尺は実物と異なる)

資料E 労働争議の変化

資料F 各生産額の推移

(統計日本経済より作成)

(日本資本主義発達史年表より作成)

- (1) 資料Aを描いた浮世絵師は一枚刷りの多色刷浮世絵版画を創始した人物である。この人物名を答えよ。
- (2) 資料Bを発行したねらいについて、資料Cを参考に説明せよ。
- (3) 資料Dを黒板に図示して、寄生地主制について理解させたい。以下の語句を使用して生徒が理解しやすい板書例を作成せよ。
「工場・鉄道・銀行」 「小作人」
- (4) 資料Eの労働争議の変化について、資料Fを使ってその変化を読み取らせ、理解を深めたい。読み取らせたい内容について、簡潔に答えよ。

科目	日本史 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名
----	----------	-------	------	----

(2020年)

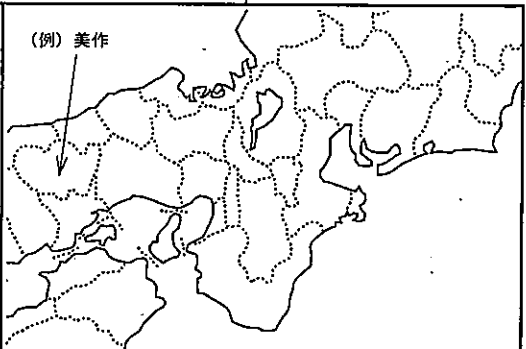
1

(1)	1	2	3	(2)
(3)				(4)
(5)				(8)
(6)	(並べ替え) → → → (理由)			
(7)				

2

(1)	A	B	C	D	E
(2)	1	2	(3)		
(4)				(5)	
(6)	(人物) (理由)				

3

(1)	1	2	3	4	
(2)	(例) 美作 			(3)	(4)
				(5)	(6)
				(7)	
				(8)	

4

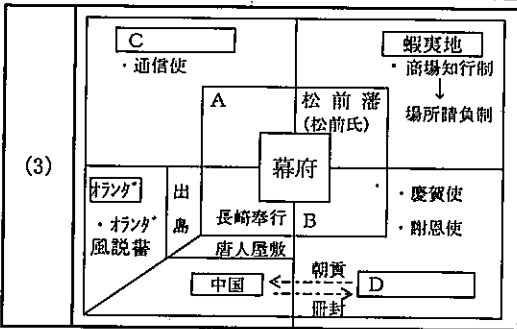
(1)	1	2	3
-----	---	---	---

科目	日本史 解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(2020年)

5 (1) A B C D E

(2) 1 2 3



(4)

(5)

(6)

(7)

6 (1) ① ②

(2)

(3) ① ②

(4) ① ②

(5) ① ②

7 (1)

(2)

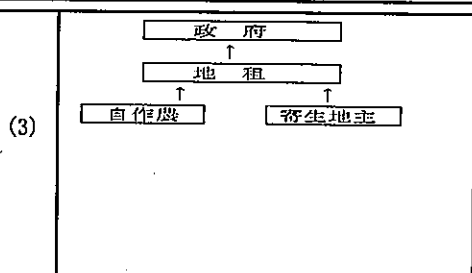
(3)

(5)

(4)

8 (1)

(2)



(4)

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	日本史 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏 名	
--------	----------	-------	------	--------	--

(2020年)

1

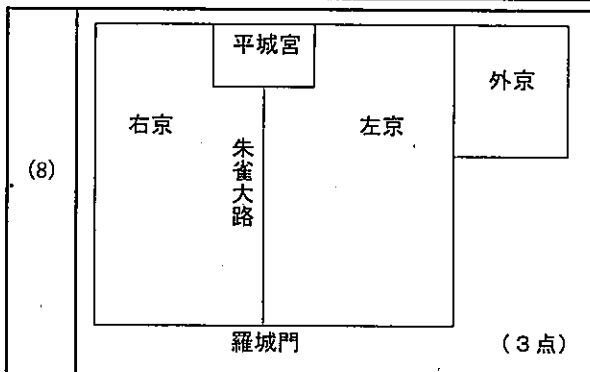
(1)	1 礎石 (1点)	2 長安 (1点)	3 条坊制 (1点)	(2)	楽浪 (1点)
-----	-----------	-----------	------------	-----	---------

(3) 【解答例】
長い木棺を竪穴式石室におさめた埋葬施設や、多数の銅鏡をはじめとする呪術的な副葬品を持つなどの特徴を持っていた。(2点)

(4) 【解答例】
周囲に環濠や柵列をめぐらせた居館を営んだ。(2点)

(5) 日本書紀 (1点)

(6) (並べ替え)
ウ → ア → エ → イ (1点)
(理由)
はじめは釈迦の遺骨と伝えられる仏舎利を安置する塔が伽藍の中心であったが、次第に本尊をまつる金堂が中心的位置を占めるようになった。塔は装飾的な存在となり、回廊の外へと移動していった。(3点)



(7) 豪族の権威を示すもの (1点)

2

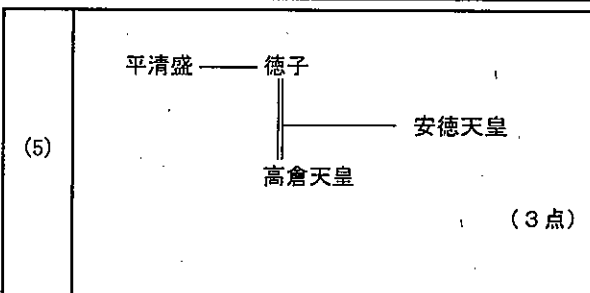
(1)	A 民部省 (1点)	B 勸解由使 (1点)	C 北面の武士 (1点)	D 異国警固番役 (1点)	E 管領 (1点)
-----	------------	-------------	--------------	---------------	-----------

(2) 1 国司 (1点) 2 畠山 (1点)

(3) 【解答例】
律令制化のものは「だじょうかん」と読み、1868年から85年のものは「だじょうかん」と読む。時期によって違いがあることに留意する。(2点)

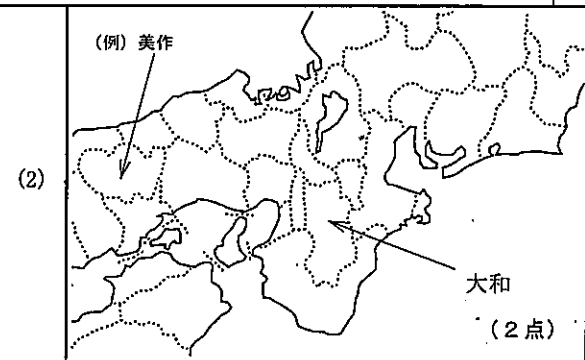
(4) 【解答例】
大宝令制定後から平安時代にかけて新設された、令の規定にない官職。(2点)

(6) (人物)
竹崎季長 (1点)
(説明)
文永の役後、博多湾岸に築かれた石塁が描かれていることから、弘安の役を描いたものである。(3点)



3

(1)	1 カ (1点)	2 ウ (1点)	3 ク (1点)	4 オ (1点)
-----	----------	----------	----------	----------



(3) 承久 (1点) (4) 北条政子 (1点)

(5) 北条義時 (1点) (6) 南禅寺 (1点)

(7) 一条兼良 (1点)

(8) 【解答例】
超過したる悪党 又は ひる強盗 (1点)

4

(1)	1 主体的 (1点)	2 多面的 (1点)	3 構想 (1点)
-----	------------	------------	-----------

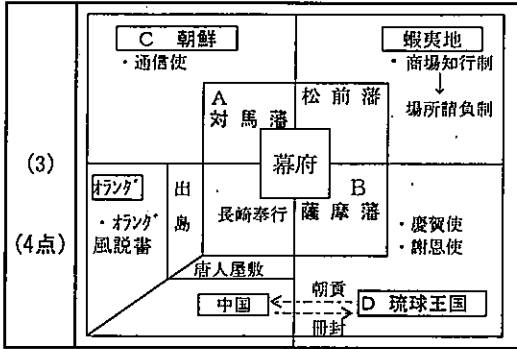
科目	日本史 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
----	----------	-------	------	----

(2020年)

5

(1)	A 徳川家光 (1点)	B 徳川綱吉 (1点)	C 徳川吉宗 (1点)	D 徳川家斉 (1点)	E 徳川家慶 (1点)
-----	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

(2)	1 上野 (1点)	2 荻原重秀 (1点)	3 水野忠邦 (1点)
-----	-----------	-------------	-------------



(4) 【解答例】
上野忍ヶ岡にあった孔子廟と林家の家塾を湯島に移し、学問所として整備して、林家に主宰させた。(2点)

(5) 小石川養生所 (1点)

(6) 【解答例】
無宿人を強制的に收容し、技術を身につけさせて職業を持たせようと人足寄場を設置して、治安対策とした。(2点)

(7) 【解答例】
資料2は上知令であり、江戸・大坂の地を直轄地にして、財政の安定や対外防備の強化をはかろうとした。(2点)

6

(1)	① 織田信長 (1点)	② 【解答例】 商工業者に自由な営業活動を認めるなどして、商品取引の拡大・円滑化をはかる目的であった。(2点)
-----	-------------	--

(2) 【解答例】
開国をして、貿易を行い、国力を充実させるべきである。(2点)

(3)	① 地券 (1点)	② 【解答例】 従来の年貢による収入を減らさない方針で定められた。(2点)
-----	-----------	--

(4)	① 横山源之助 (1点)	② 桐生 (1点)
-----	--------------	-----------

(5)	① 国民所得 (1点)	② 池田勇人 (1点)
-----	-------------	-------------

7

(1) 【解答例】
外相小村寿太郎のもと関税自主権が回復して、条約改正が完成した。(2点)

(2) 【解答例】
海軍軍令部長の反対を押し切って浜口内閣がロンドン海軍軍縮条約に調印して兵力量を決定したのは、統帥権の干犯であると野党や海軍軍令部などは主張したからである。(3点)

(3) 立憲政友会 (1点)

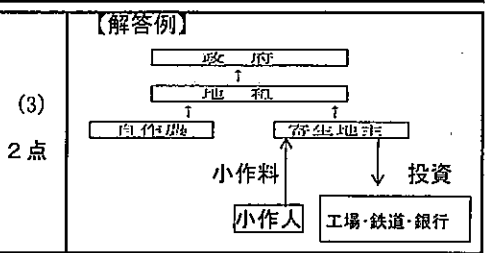
(4) 【解答例】
二大政党である立憲政友会と憲政会(立憲民政党)の総裁が交代で内閣を組閣する「憲政の常道」が続いた。(2点)

(5) 近衛文麿 (1点)

8

(1) 鈴木春信 (1点)

(2) 【解答例】
秤量貨幣の銀貨を計数貨幣にして、金を中心とする貨幣制度への一本化を試みた。(3点)



(4) 【解答例】
第一次世界大戦で工業が発展し、工場労働者が大幅に増加した。労働条件改善や賃金引き上げなどを求める労働運動が高揚し、労働争議の件数も増加した。(4点)